

疫学情報 2019 年 2 月 13 日分

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03494.html

Tokyo AMR One-Health Conference の開催について

平成 31 年 2 月 01 日（金）

【照会先】厚生労働省 健康局 結核感染症課

本年 2 月 20 日～21 日にアジア諸国の政府職員、国際機関の担当者、専門家を招聘して、「Tokyo AMR One-Health Conference (AMR ワンヘルス東京会議)」を開催することになりましたのでお知らせいたします。

平成 29 年度の AMR ワンヘルス東京会議では、薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランの策定・実行支援が合意されました。今回は初めて WHO 西太平洋事務局(WPRO)との共催となり、日本及び各国のアクションプランの進捗状況を確認し、互いに学び合う会議となります。

1 概要

(1) 日時 平成 31 年 2 月 20 日（水）～21 日（木）

(2) 場所 笹川記念会館（東京都港区三田 3-12-12）

(3) 主催 厚生労働省、WHO 西太平洋事務局(WPRO)

(4) 主な内容（予定） 2 月 20 日（水）9：00～18:00 及び 21 日（木）9：00～12:00

抗微生物薬の適正使用及び AMR 対策を可能とする保健医療システムの構築など優先課題におけるロードマップの策定・実行支援をテーマに、各国の保健省・農林省 AMR 担当者等による国際会議を実施し、各国の取組状況に関する情報共有を行う。 2 月 21 日（木）13：30～16：30

日本及び世界においてヒト、動物、環境分野の連携による抗微生物薬適正使用や AMR 対策に関する情報提供等を行う公開シンポジウムを開催。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000476234.pdf>

2 月 21 日（木）のシンポジウム参加に当たっては、以下の参加登録ウェブサイトからお申し込みください。

ウェブサイトは 2 月 5 日(火)15:00 開設予定です。【参加登録ウェブサイト（2 月 5 日(火)15:00 開設予定）】

<https://www.tokyo-amr2019.jp>

※ 2 月 20 日（水）、21 日（木）の両日参加される場合は、必ず、申込書及びウェブサイトそれぞれからお申し込みください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html#b0714/surveillance/masinn.html#crs>

埼玉県衛生研究所 感染症情報センター

掲載日：2019 年 1 月 30 日

先天性風しん症候群（CRS）

先天性風しん症候群は、感染症発生動向調査では、2019 年は、第 4 週に 1 例の届出がありました。

先天性風しん症候群（CRS）届出状況

年	診断週	性別	診断方法	母親の妊娠中の風しん罹患歴	母親のワクチン接種歴
2019	4	男	血清 IgM 抗体の検出	不明	有り

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/4th-chuukiseika7.html>

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所

スギ花粉症対策に向けた新技術 ―菌類を活用して花粉の飛散を抑える―

更新日：2017 年 5 月 15 日

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/documents/4th-chuukiseika7.pdf>

このパンフレットについて

近年、スギ花粉症患者が増大しており、スギ花粉の飛散抑制が求められています。これまでも、将来の花粉飛散を防止するために、現在あるスギ林を伐採して植え代えるための「花粉の少ない品種の選抜」や「雄性不稔個体の探索」が行われてきました。

他方、私たちは即効性がある花粉飛散防止法として、スギ雄花に寄生して枯死させる微生物の探索を続けてきました。その結果、2006年にスギ雄花に特異的に寄生する菌類、スギ黒点病菌（*Sydowia japonica*）を発見しました。そして、2007年には本菌類の菌糸体懸濁液を作成し、スギ雄花に散布処理することで、人為的に雄花を枯死させることに成功し、2014年、「スギ花粉飛散抑制剤およびスギ花粉飛散抑制方法」として特許が登録されました（特許第5558759）。私たちは、2014年より、農林水産省による農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業課題「菌類を活用したスギ花粉飛散防止液の高度化と実用的な施用技術の開発（2014～2016年）」を着手し、本手法の実用化を目指して、「スギ花粉飛散防止液の製剤化」と「実用的な散布施用技術の開発」について研究を行ってきました。このパンフレットは、その研究成果を分かりやすくお伝えするために作成したものです。

この研究では、実用化の可能性が垣間見えましたが、実用化に向けてはまだまだ研究開発すべき課題が多く残されています。私たちは今後も研究をさらに進め、できる限り早い時期に、スギ花粉飛散防止液の実用化を実現したいと願っております。

研究機関を代表して 国立研究開発法人森林総合研究所 窪野高德

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03577.html 厚生労働省 医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課
市民向けシンポジウム「がんの痛みは正しい知識で取る～医療用麻薬はどんな薬でどう使われるのか？～」を開催します。 平成31年2月07日（木）

厚生労働省は、医療用麻薬の適正使用を推進するための市民向けシンポジウムを日本緩和医療薬学会と共催で開催いたします。本シンポジウムは、「医療用でも、麻薬は怖！」と思っている方に、医療用麻薬と違法な薬物の違いや、医療用麻薬の必要性や安全性を理解していただき、「がんの痛みは、医療用麻薬を適切に使用することで取り除ける」という正しい知識を普及することを目的としています。つきましては、本シンポジウムの広報活動にご協力のほど、お願いいたします。

記

1. 開催日時・会場

(1) 東京会場

日時：平成31年2月23日（土） 14時00分～16時40分 入場無料

場所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール7（定員200名）

2. プログラム

- ・違法薬物と医療用麻薬の違い
- ・がんによる痛みと医療用麻薬について

3. 参加申込（定員になり次第、締め切り）

登録サイト（<http://www.jigyou.com/iryo-yo-mayaku/>）にて参加登録を行うか、「参加申込書」によりFAXにてお申し込みください。

【別添】【東京会場】プログラム・参加申込書 [PDF形式：616KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/000477677.pdf>

第11回食品衛生管理に関する技術検討会の開催について

平成31年2月7日(木)

食品衛生管理に関する技術検討会を下記のとおり開催いたします。

資料につきましては、2月21日(木)16:00までに当省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-syokuhin_436610.html)に掲載しますので、傍聴に当たっては、お持ちのタブレット、携帯端末等にあらかじめ保存の上、当日持参いただくか・当省ホームページにその場でアクセスし、掲載されている資料を閲覧していただくかの対応をお願いいたします。ご不便をおかけしますが、ペーパーレス化へのご協力をお願いいたします。なお、会場内にはご利用いただける無線LANのアクセスポイントはございませんので、会場から当省ホームページ掲載の資料を閲覧される場合には、ご自身で通信環境をご用意していただくようお願いいたします。

記

1. 日時

平成31年2月22日(金) 13:30~16:00

2. 場所

TKP赤坂駅カンファレンスセンター ホール14A

東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル 東館 14階

3. 議事

1 食品等事業者団体が策定した衛生管理計画手引書案の確認

- 1) エキス調味料の製造
- 2) 食品添加物(ガス)の製造
- 3) 小規模なそうざい製造工場
- 4) 鶏卵選別包装施設・液卵製造施設

2 その他

4. 傍聴について

公開に関する具体的な取扱いは次のとおりですので、傍聴を希望される方はこれに沿って必要な手続等を行ってください。

(1) 傍聴要領

ア 傍聴を希望される方は、1) 氏名(ふりがなをふってください)、2) 所属組織(団体・会社名等)、3) 住所、4) 電話番号・ファクシミリ番号(またはメールアドレス)を記入の上、ファクシミリ(または電子メール)にて、厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課にお申し込みください(お電話によるお申し込みはご遠慮ください)。また、題名には「第11回食品衛生管理に関する技術検討会 傍聴希望」とお書きください。

厚生労働省医薬・生活衛生局

食品監視安全課 HACCP 企画推進室 あて

(ファクシミリ) 03(3503)7964

(電子メール) haccppromotion@mhlw.go.jp

イ お申込締切日は、平成31年2月18日(月)17:00です。

ウ 希望者多数の場合は、抽選によることとします。傍聴の可否につきましては、傍聴できる方のみファクシミリ(または電子メール)によりご連絡いたします。予めご了承ください。

おくすり講座

東京都は、医薬品等の適切な使用に関する正しい知識の普及を図るため、「おくすり講座」を開催しています。
平成30年度「第2回おくすり講座」を開催します！

テーマ 知らないうちに騙される！悪質ネット広告が狙う私たちの「健康」

本講座では、健康になりたいと願う人が騙されてしまいがちな医療広告を紹介しながら、インターネット時代の健康・医療情報の見方について、医学部卒の現役医療記者がデマ健康情報に鋭く切り込み、わかりやすく解説します。

日時 平成31年3月6日（水曜日） 午後2時から午後4時まで ※開場は午後1時30分から

場所 東京都健康安全研究センター本館6階

講師 医療記者 朽木誠一郎 氏（「健康を食い物にするメディアたち」著者）

定員 100名程度（事前申込、参加無料。応募多数の場合は抽選）

応募資格 都内在住、在勤又は在学中で、年齢18歳以上

申込方法 電子申請又は往復はがきでお申し込みください。

【往復ハガキ記載方法】

〔往信(表面)〕 〒169-0073 新宿区百人町3-24-1

東京都健康安全研究センター 食品医薬品情報担当

〔往信(裏面)〕 ①催し名「第2回おくすり講座」

②住所

③氏名（ふりがな）

④年齢

⑤職業

⑥電話番号

⑦手話希望・車いすでの参加希望・託児希望の方はその旨

〔返信(表面)〕 申込者の住所及び氏名

〔返信(裏面)〕 白紙のまま御郵送ください。

締切 平成31年2月20日（水曜日）当日消印有効

※参加の可否は、平成31年2月27日（水曜日）までにお知らせします。

【電子申請 URL】 パソコン スマートフォン

